

2021年

11月21日(日)

10:30~12:30

オンライン開催
(Zoom)



申込
QRコード

宣教師と茶の湯

16世紀日本における

立教大学文学部 キリスト教学科主催 公開講演会

対象：本学学生・大学院学生、教職員、
校友、一般

主催：立教大学文学部キリスト教学科
担当者：加藤 磨珠枝 (文学部教授)
問合せ先：学部事務1課 大竹
03-3985-4069



遠山記念館学芸課長

依田
徹氏

16世紀に来日した宣教師たちが目撃したのは、日本人が熱狂する「茶の湯」という不思議な文化であった。特に宣教師たちの活動拠点となった貿易港の堺は、茶の湯の流行の中心地でもあった。本講では、宣教師と堺の関係、また南蛮文化と茶の湯への影響に関し、現在考えられている仮説も含めて紹介する。

[講師略歴] 1977年、山梨県生。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了、博士(美術)。専門は日本近代美術史、茶道史。現職は遠山記念館学芸課長。茶の湯学会理事、文化庁文化創造アナリスト(茶道調査を担当)。著書に『近代の「美術」と茶の湯』、『皇室と茶の湯』、『女性と茶の湯のものごと』など多数。